

ひがしの

11月号 東野小学校報 No.8

教育活動

校長 青山龍三

先日、出張で高山へ行きました。細かい雨に雪のようなものが混じていました。恵那に帰って来ても寒さは変わらず、このところの急激な気候の変化についていくことは大変です。一方で、子どもたちは元気よく、欠席もほとんどない10月でした。

運動会が終わり、いよいよ後期に入りました。まとめの意味とこれからのことを知っていただく意味で、すでにご存知の方もみえると思いますが、東野小学校が行う教育活動のいくつかを紹介します。

・ 幼稚園児への読み聞かせ

小学校の20分休みに隣の東野幼稚園へ行って、園児に読み聞かせをしています。2人ペアで年2回読み聞かせに行きます。今年はどこまでできるかわかりませんが、毎週木曜日に行っています。1学期から6年生が行っており、今も続いています。読み聞かせる本は自分たちで選んでいます。園児も楽しみにしているようですし、小学生にとっても緊張の中、自分が選んだ本を分かるように読むことは自信にもつながりますし、自他を大切にすることを育てるためにもなる活動と考えています。



・ 全校研究会

全校職員が授業を見合い、授業でどのような力がついたのか、どの子がどのように伸びたのか、指導する教師が何をねらいとし、その願いは達成できたのか、どうすればもっと深く広く理解できたか、などについて意見交換をし、最後に指導主事あるいはその道の専門に指導を仰ぐものです。教師の指導技術の向上やその教材にどのような価値をみいだしてとりあげたのかなど、

教師の授業力向上のため、教師全員が年に一度授業者になって指導を受ける会です。

・ お母さんの読み聞かせ

子どもたちがたいへん楽しみにしています。お母さんが多いのですが、お父さんや地域のボランティアの方にもお願いしています。毎回読んでいただく本を自分で選んでいただき、朝の読書の時間に行っています。1年から6年まで、物語に入り込んで一生懸命聞く姿があります。先日の新聞で、過去1ヶ月のうちに本を読まなかった人の割合が52%に及ぶという記事がありました。東野の児童たちには、読書の楽しさを知り、大人になっても本を読む習慣が続いていることを願っています。



・ 田や畑を使った体験活動

校地内の畑の他、地域の方のご好意で田や畑をお借りしています。その田や畑を使わせていただき、田植えからお米の収穫、枝豆やイモ類などの栽培体験をしています。しかし、学校の職員には専門の知識がありません。また、田や畑の世話をする時間もそれほどありません。JAの方や地域の方、あるいはアグリパークの方など、実に多くの方のおかげで学習が成り立っています。深く感謝します。

学校の活動にはすべて目的があります。どんな力を付けるためにその活動を仕組むか。その力を付けるためにこの活動がほんとうに良いのかなど、いろいろ検討を重ねて今の形になっています。でも、さらに検討を重ねる必要があります。子どもは毎年違ってきますし、時代の流れもあります。指導要領の改正もあります。



今後も学校の教育目標『豊かで明るくたくましい東野の子』を目指して、一人ひとりが伸びる活動を仕組んでいきます。